

研究計画申請書

令和8年 6月 2日

JCHO 三島総合病院
倫理委員会委員長 様申請者名 中川 知哉
(研究実施責任者)

* 受付番号 R8-04

1. 研究課題名 長期血液透析中の腰部脊柱管狭窄症術後患者における自宅退院を目標とした一症例
2. 共同研究者 (氏名及び所属) リハビリテーションセンター 中川知哉 望月一磨 日高魁人 尾熊洋子 腎臓内科 渡邊佳織
3. 研究などの概要 当院入院患者の症例報告 長期血液透析患者はアミロイドの沈着により脊柱管狭窄症(LCS)を発症しやすく、Takらは透析患者は術後も倦怠感、筋力低下の影響から身体機能の改善が難しいと報告している。術前より疼痛のために身体活動が大きく制限され重度の廃用症候群を呈した症例に対して、運動耐容能の改善と階段昇降の再獲得を目標とした理学療法を実施し自宅退院に至った一症例を報告する。
4. 研究などの対象、実施場所及び期間 症例：慢性腎不全及び脊柱管狭窄症術後の患者 (腎臓内科) 入院期間：2026年1月8日～2026年3月13日

注意事項

*印欄は記入しないこと。

<p>5. 研究の対象となる個人の人身擁護 患者情報は個人が特定できないように配慮した。</p>
<p>6. 対象者（本人及び家族）に理解を求め、同意を得る方法 （同意書も添付のこと） 対象者に研究内容について説明し、書面にて同意を得た。</p>
<p>7. 研究によって生じる対象者への不利益と医学上の利益または 貢献度の予測 電子カルテにより後方視的に情報収集を行うため対象者への不利益はない 血液導入患者の LCS 術後における理学療法介入の報告は少ない。 今回当院での介入の経過により自宅退院につながった一症例を報告することで今後の 理学療法介入の質の向上に寄与できるのではないかと考える。</p>
<p>8. その他 東海北陸理学療法学会（2026 年 11 月 21・22 日）にて発表予定</p>